

# 政策評価シート（令和元～4年度）

分野	1 観光・交流
----	---------

評価責任者	所属	観光交流文化局
	氏名	局長 望月 哲也

政策（目的）	1 静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します
動向と課題	<p>【世界レベルの地域資源の活用への期待】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ホビー産業、世界文化遺産三保松原、南アルプスなど世界レベルの地域資源を有しており、多くの観光客が訪れています。</li> <li>○家康公に代表される歴史資源や、食、自然、スポーツなどほかの地域に勝る魅力があります。</li> <li>○これらの資源をさらにみがきあげていく必要があります。</li> </ul>

## （1）総合評価

評価	<b>B：政策の目的があまり達成されていない</b>
理由	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、各種イベントの中止や外出の自粛などもあり、「観光レクリエーション客数」について目標値を大幅に下回った。しかし、新型コロナウイルス感染症の対策を行ったうえでのイベント開催や、国・県と連動した観光需要喚起策、教育旅行や団体旅行誘致など、コロナ禍に対応した誘客事業を展開したり、静岡市ならではの歴史文化の価値と魅力を広く発信する歴史博物館が令和5年1月に開館する予定である。また、一部プロモーション事業ができなかったが、「お茶のまち静岡市」のPR事業を実施することで、本市における一世帯当たりの緑茶の「年間購入数量」及び「年間支出金額」は日本一を維持し、成果指標を大きく上回ったため、コロナ禍においても地域資源を有効に活用できたと評価できる。</p>

※【評価基準】S：政策 4

※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

## （2）成果指標

指標名	現状値	R4目標値	実績値 (R4.3末時点)	達成率(%) (R4.3末時点)	評価	目標値の算出根拠
観光レクリエーション客数	24,946千人 (H27-H29平均)	25,694千人	13,626千人	53.0%	<b>C</b>	2次総最終年度であるH26年度から現状値の最終年度であるH29年度までの増加率（+0.6%）を上回るストレッチ目標として、4年間で+3%の増加とする。
					—	

※【評価基準】s：既に目標値を達成している。a：目標値を達成する見込みである。b：目標値をやや下回る見込みである。c：目標値を大幅に下回る見込みである。

## （3）第4次総合計画に向けた見直し等

<p>○コロナからの回復を見据え、多くの人々を呼び込むとともに、市民の暮らしや自然環境などにも配慮し、将来に渡り住民と来訪者の双方が満足する観光を推進していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・静岡市に存在する歴史、食、自然、スポーツなどの多彩な地域資源を求め来訪を促すための、日本遺産二峠六宿の歴史資源や桜えびなどのしずまえ鮮魚などの静岡市ならではの地域資源の磨き上げ</li> <li>・歴史博物館や天守台野外展示などの静岡市ならではの歴史文化の価値と魅力などの発信による誘客</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、新しい観光施策として広がりをもせているワーケーションやマイクロツーリズムなどの推進</li> </ul>
--

## （4）政策を構成する施策及び主要事業

施策1	模型の世界首都・静岡を活かした魅力づくり		
総合評価結果	R元	R2	R3
	A	—	—

施策2	世界に認められた地域資源のみがきあげ		
総合評価結果	R元	R2	R3
	S	B	B

施策3	徳川家康公をはじめとした歴史に触れ親しむ観光振興		
総合評価結果	R元	R2	R3
	S	—	—

施策4	お茶、しずまブランドなど食の魅力のみがきあげ		
総合評価結果	R元	R2	R3
	A	S	S

施策5	オクシズの魅力を活かす交流促進		
総合評価結果	R元	R2	R3
	B	—	—

施策6	スポーツを通じた魅力づくりの推進		
総合評価結果	R元	R2	R3
	A	—	B

# 施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	1 観光・交流
----	---------

評価責任者	所属	経済局 商工部 産業振興課
	氏名	課長 石川 賢一

政策	1 静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します
----	-------------------------------

施策	1 模型の世界首都・静岡を活かした魅力づくり
----	------------------------

施策の目的	本市の主要な地場産業であるプラモデル業界の集積を活かし「ホビーのまち静岡」として国内外へ情報発信することで市のブランド化及び地域経済の活性化を図ります。 また、プラスチックモデル製品等の展示会等を開催する事業を促進することにより、地域経済の活性化と市のブランド化を図ります。
-------	--

## （1）総合評価

総合評価	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	理由
	A：施策の目的が達成されている。	—	—	—	「静岡ホビーショー」は、国内最大級のホビーイベントとして、毎年国内外から多くの人々が来場するとともに、小中高校生招待日を設け、学校単位での参加を促すことで小中高校生の来場数が増加。「クリスマスフェスタ」についても、老若男女が楽しめる体験型イベントとして定着し、例年と同程度の来場者が訪れた。「静岡ホビースクエア来場者数」は令和2年3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休館措置をとっており、来場者数が昨年度と比較して減少したものの、体験型イベントを通じて多くの人にホビーの楽しさをPRでき、全体の入込客数は目標値を上回った。よって総合評価はAとした。
		—	—	—	新型コロナウイルスの影響により、指標の対象としている静岡ホビーショー、クリスマスフェスタの開催を見送ったため評価を行うことが出来ない。
		—	—	—	新型コロナウイルスの影響により、指標の対象としている静岡ホビーショーの小中高校生招待日、一般公開日の開催を見送ったため評価を行うことが出来ない。
		—	—	—	—

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。—：評価できない。

## （2）成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠
			1	160,000人	160,000人	163,757	102.1%	
2			22,704	14.2%	d			
3			59,659	37.1%	d			
4			161,000人	—	—			
指標以外の成果			1					
			2					
			3					
			4					

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
「ホビーのまち静岡」の推進	①静岡ホビースクエアの施設管理 ②ものづくり教育推進事業の実施	1	1	82,202	0	78,638	0.4	0.0	0.0	○
			2	73,548	0	49,123	0.4	0.0	0.0	
			3	88,563	0	81,574	0.4	0.0	0.0	
			4	—	—	—	—	—	—	
ホビーショー開催補助事業	①「静岡ホビーショー」開催助成	1	1	11,000	0	11,000	0.3	0.0	0.0	○
			2	5,000	0	5,000	0.3	0.0	0.0	
			3	11,000	0	10,000	0.3	0.0	0.0	
			4	—	—	—	—	—	—	
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例 (◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、－：計画実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった)

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	令和2年2月中旬以降、新型コロナウイルスの世界的流行により、イベント来場者数やイベント開催そのものに対して制限が発生しており、現在の指標である入込客数が指標にそぐわなくなっている。	実施事業等でアンケートをとり「模型の世界首都・静岡」に対する認知度等を調査することで指標とすることを検討する。
令和2年度	新型コロナウイルスの影響により、クリスマスフェスタ開催に係る補助金交付、ホビーパークプロジェクトの実施、全日本模型ホビーショー出展助成については実施することができなかった。模型関連事業者の販路開拓機会が喪失、また、市民が模型に触れ合う機会が減少した。	模型関連産業事業者の販路開拓機会を積極的に支援するとともに、生涯学習や学校教育現場の活用等により「ホビーのまち静岡」の市民への浸透と魅力発信を行う。
令和3年度	新型コロナウイルスを踏まえた、イベントの開催及びホビーのまち静岡の効果的なPR方法の検討	人数等の制限を伴うが、コロナ感染対策を施した実開催を積極的に支援していくとともに、対市外のみならず、対市内における魅力及び誇りの醸成を図る事業を展開する。
令和4年度	—	—

# 施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	1 観光・交流
----	---------

評価責任者	所属	観光・MICE推進課
	氏名	課長 福地 剛

政策	1 静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します
----	-------------------------------

施策	2 世界に認められた地域資源のみがきあげ
----	----------------------

施策の目的	世界文化遺産富士山の構成資産として登録された三保松原をはじめ、日本夜景遺産に登録され、富士山の眺望の素晴らしい日本平など世界に認められた地域資源を活かし、ハード整備及びソフトの両面の視点で、世界中から人が集まるよう、事業を進めます。
-------	--

## （1）総合評価

総合評価	年度	評価	理由
	令和元年度	S：施策の目的が十分に達成されている。	理由 各施策を計画的に実施し、平成30年度にオープンした「みほしるべ」や「日本平夢テラス」等の施設による誘客効果を令和元年度も継続して取り込めたことで、目標値を大きく上回る成果を得られたため。
	令和2年度	B：施策の目的があまり達成されていない。	理由 新型コロナウイルス感染症の影響（緊急事態宣言の発出等）により国内外の移動が大きく制限され、当初想定していた事業実施ができず、設定している目標値を達成することができなかったが、感染対策等を踏まえた新たな形式での事業を試行し、情報発信やプロモーションを工夫して、認知度向上においては一定の効果が得られたと考えられるため、総合評価を「B」とした。
	令和3年度	B：施策の目的があまり達成されていない。	理由 新型コロナウイルス感染症の影響により国内外の移動が大きく制限され、当初想定していた事業実施ができず、設定している目標値を達成することができなかったが、感染対策等を踏まえた新たな形式での事業を試行し、情報発信やプロモーションを工夫して、認知度向上においては一定の効果が得られたと考えられるため、総合評価を「B」とした。
	令和4年度	—	理由 —

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。—：評価できない。  
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

## （2）成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠
			1	3,935千人	4,297千人	109.2%	S	
関連施設・イベント入込客数 （三保松原、日本平、南アルプス等）	3,896千人 （H27～29の平均）	2	3,974千人	2,763千人	69.5%	d		
		3	4,013千人	2,745千人	68.4%	d		
		4	4,052千人	—	—	—		
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
指標以外の	・「南アルプスユネスコエコパークの認知度」の目標値51%（市政アンケートモニター）に対し、参考実績値（イベント等来場者アンケート）60% ・ナイトツーリズム推進事業について、コロナ禍の影響を受け、当初予定していた民間イベント（日本平夜市）との連携方法を見直し、感染対策等を踏まえた新たな形式での事業（ドライブインシアター）を試行し、車を利用して多くの来場者（170台）と高い満足度（95%）を獲得した。							

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
①日本平ナイトツーリズム推進事業	日本平からの夜景を核としたナイトツーリズム事業を推進 ・市内夜景の魅力向上可能性調査 ・静岡夜景のブランディング検討 ・日本平の集客力向上	1	1	8,400	0	5,812	0.3	0.0	0.0	○
			2	15,000	0	10,163	0.6	0.0	0.0	
			3	23,300	—	21,825	1.0	0.0	0.0	
			4	—	—	—	—	—	—	
②有度山フレンドシップ協定の推進	「日本平久能山スマートI.C.」共用開始に合わせ、日本平ホテル等の協定参加者とともに、近接する宮川交差点にある野立看板に案内広告を掲出	3	1	201	0	98	0.1	0.0	0.0	○
			2	220	0	132	0.1	0.0	0.0	
			3	220	0	132	0.1	0.0	0.0	
			4	—	—	—	—	—	—	
③三保松原保全再生事業	・松原保全研修の開催 ・三保松原保全漫画冊子発行（令和3年3月） ・リスク軽減事業（マツを病気から守る事業、倒木を防ぐ事業等） ・松原再生事業（マツの植樹事業等） ・マツの母樹園及び苗畑の整備のための用地買収（9筆）	1	1	245,559	—	230,943	3.0	0.5	0.0	○
			2	198,124	0	163,475	2.5	0.5	0.0	
			3	203,769	0	193,218	2.5	1.0	0.0	
			4	—	—	—	—	—	—	
④南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業	・ウェブサイトによる南アルプス情報発信事業 ・普及啓発事業 ・協議会関係事業	1	1	6,327	—	6,104	2.0	—	—	○
			2	4,969	0	3,589	2.0	0.0	0.0	
			3	7,973	0	6,921	2.0	0.0	0.0	
			4	—	—	—	—	—	—	
⑤南アルプス周辺登山道整備事業	登山者の安全を確保する登山道、山小屋の修繕、工事等を実施 ・登山道修繕・工事（茶臼岳、聖岳、千枚岳 他） ・山小屋修繕（百間洞山の家、熊野平小屋、高山裏避難小屋、ウソッコ沢小屋）	2	1	7,000	0	4,478	0.3	0.0	0.0	○
			2	155,000	0	36,422	2.0	0.0	0.0	
			3	5,000	109,100	110,112	2.0	2.0	0.0	
			4	—	—	—	—	—	—	
⑥日本平公園整備事業	山頂施設整備 ・バリアフリー園路整備の用地交渉 平原ゾーン及びアクセス道路整備 ・平原ゾーン及び駐車場整備工事の実施 ・アクセス道路整備工事の実施	1	1	124,230	15,115	139,345	4.0	0.0	0.0	○
			2	161,906	277,886	439,792	4.0	0.0	0.0	
			3	255,588	233,310	488,898	4.0	0.0	0.0	
			4	—	—	—	—	—	—	

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例（◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画上実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった）

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	<p>全体) 新型コロナウイルスの影響により、観光のあり方が大きく変わることが予想される</p> <p>①夜景づくりやナイトタイムエコノミーの充実など、長期的な取組が必要</p> <p>③みほしるべの来館者数は目標を大きく上回ったが、三保松原の価値や魅力を広く発信し、来館者数を維持・増加させるとともに、訪れた人により地域が活性化する取組を充実させる必要あり</p> <p>④登録5周年記念事業等により、「南アルプスユネスコエコパークの認知度」の成果指標は参考値ながら目標値を上回ったが、20代、30代の若い世代の認知度が低いことから、関心を高める取組の強化が必要</p>	<p>全体) 関係主体と連携のもと情報収集に努め、時勢に応じて、事業の内容や実施方法等について見直しを検討する。</p> <p>①夜間照明や夜景観光に関する有識者・民間企業等と連携ながら、庁内横断的な推進体制を検討する。</p> <p>③三保松原の保全活動やイベント等をSNS等を活用して積極的にPRを行うことで、三保松原の価値や魅力を情報発信していく。名勝及び世界文化遺産構成資産としての価値を保全しながら、ユニークベニューやイベント等の開催により地域の活性化、観光資源につながる体制を構築していく。</p> <p>④若い世代の認知度を高めるため、SNS等による情報発信の強化を進めるほか、民間企業等と連携した事業の実施や現地での体験機会の創出を進める。</p>
令和2年度	<p>全体) 新型コロナウイルスの影響をふまえて、事業の実施方法等を検討する必要がある。</p> <p>①市内夜景の魅力向上やブランディングについて、令和2年度の調査・検討を踏まえ、事業具体化に向けた庁内外での推進体制づくり・市民や事業者の参画を得ていくためのパイロット事業創出等の検討が必要。イベント実施や夜間帯の観光商品づくりについては、コロナ禍における感染対策との両立が課題。</p> <p>②有度山フレンドシップ協定に関する誘客等活動に関する協議・連携の強化</p> <p>③新型コロナウイルスの影響により、不特定多数が集まる大規模な保全活動が開催されていないため、既存のグループや個人での保全活動参加を促し、リピートしてもらえる仕組みづくりをする必要がある。</p> <p>④民間企業や公共施設との連携した事業等により「南アルプスユネスコエコパークの認知度」の成果指標は参考値ながら目標値を上回ったが、コロナ禍での現地体験を通じた普及啓発活動が困難であることから、代替手段による普及啓発の取組が必要。</p> <p>⑤近年の登山ブームと新型コロナウイルス感染拡大に伴う山間地への新規訪問客増加による登山道及び山小屋に関するあり方を見直す必要がある。</p>	<p>全体) 新型コロナウイルスへの対応を考慮して、事業および情報発信を実施する。</p> <p>①令和3年度に官民連携でのプロジェクトチーム立上げを検討するとともに、令和4年度末までのパイロット事業実施を目的に検討を進める。</p> <p>③イベントや保全活動をSNSで発信するだけでなく、三保松原での保全事業の成果のウェブサイト公開や講演会のオンライン配信などで、より深く継続して三保松原の保全に関わる市民を増やしていく。</p> <p>④実物展示やVRコンテンツ、SNS等の活用により、南アルプスや井川地域を身近に感じられる情報の発信を進める。</p> <p>⑤登山道の安全確保と隣県自治体との登山案内看板の統一化に関する連携調整、新型コロナウイルス感染抑止のため、山小屋の衛生管理及び登山前の健康管理に関する注意喚起の明示や登山観光情報を強化する。</p>
令和3年度	<p>全体) コロナ禍以前の水準には回復しておらず、事業実施方法等の再検討が必要。</p> <p>①市内夜景のブランディングや夜間の集客力向上、経済効果創出に向け、ソフト事業とハード事業の好循環を創出するため、今後、観光客に対するプロモーションや日本平山頂への送客、観光商品の販売等のソフト事業の本格化が必要。</p> <p>③コロナの影響により、保全活動を見合わせる民間企業等の団体が多かった。個人や少人数グループに対し、継続的な活動を促すとともに、新規参加者の増加を図る必要がある。</p> <p>④コロナの拡大状況により体験活動を通じた普及啓発活動の実施の可否が左右されるため、代替手段による普及啓発の取組の充実が必要。</p> <p>⑤コロナの拡大・継続により、コロナ禍前までの集客数には回復までには至らず、コロナ禍での地域振興の在り方を見直す必要がある。また、登山ブームが継続していることから、引続き登山道及び山小屋に関する在り方を見直す必要がある。</p>	<p>全体) 感染状況に左右されない事業実施、及び情報発信を進める。</p> <p>①関係局と連携のもと、静岡市夜間景観整備計画を策定し、計画に基づいたハード整備を進めるとともに、令和3年度に民間事業者が実施した夜間観光商品のパイロット事業の商品化や日本平山頂でのイベント実施により、ソフト事業の本格化に注力する。</p> <p>③既存グループの保全活動についてSNS等を活用しPRするとともに、講演会等で松原保全の重要性を発信していく。また、外部団体と連携した保全イベントを開催することで、新規参加者を増やしていく。</p> <p>④空撮動画やVR画像、SNSなど手軽に南アルプスや井川地域を身近に感じられるコンテンツを活用した普及啓発を進める。</p> <p>⑤感染症拡大防止対策を徹底し、地域や施設と協議を重ね、必要な措置を講じていく。</p>
令和4年度	—	—

# 施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	1 観光・交流
----	---------

評価責任者	所属	観光・MICE推進課
	氏名	課長 福地 剛

政策	1 静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します
----	-------------------------------

施策	3 徳川家康公をはじめとした歴史に触れ親しむ観光振興
----	----------------------------

施策の目的	静岡浅間神社との回遊性の向上を図りつつ駿府城公園の整備を進めるほか、東海道歴史街道まち歩き観光としておんぱくの実施による観光資源の掘り起しなど、静岡に存在する歴史的資産を活かした風格のあるまちづくりを推進します。
-------	--

## （1）総合評価

総合評価	令和元年度	S：施策の目的が十分に達成されている。	理由	各施策を計画的に実施し、目標値を大きく上回る成果を得られたため。
	令和2年度	—	理由	新型コロナウイルス感染症の影響（緊急事態宣言の発出等）により国内外の移動が大きく制限され、当初想定していた事業が実施できなかった。また、設定している指標「関連施設・イベント入込客数（歴史文化のまちづくり、久能山、東海道歴史街道）」についても、新型コロナウイルス感染症の影響によるイベント中止等の影響を受けて著しく減少しているため、適正な実績値として評価することができない。
	令和3年度	—	理由	新型コロナウイルス感染症の影響により国内外の移動が大きく制限され、当初想定していた事業が実施できなかった。また、設定している指標「関連施設・イベント入込客数（歴史文化のまちづくり、久能山、東海道歴史街道）」についても、新型コロナウイルス感染症の影響によるイベント中止等の影響を受けて著しく減少しているため、適正な実績値として評価することができない。
	令和4年度	—	理由	—

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。 A：施策の目的が達成されている。 B：施策の目的があまり達成されていない。 C：施策の目的が達成されていない。 —：評価できない。  
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

## （2）成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（％）	評価	目標値の算出根拠
	関連施設・イベント入込客数 （歴史文化のまちづくり、久能山、東海道歴史街道）		2,005千人 (H27～29の平均)	1	2,055千人	2,236千人	108.8%	s
2				2,105千人	468千人	22.2%	d	
3				2,155千人	693千人	32.2%	d	
4				2,206千人	—	—	—	
指標成果以外の	「駿府城公園及びその周辺における桜の総本数」 令和3年度目標値868本に対し、実績873本（4枯損木、9本植樹）		1					
			2					
			3					
			4					

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
①東海道歴史街道まち歩き観光の推進	東海道歴史街道で育まれ根付いてきた地域資源を活用した「駿河東海道おんぱく」の開催など観光商品の造成等を通じて、市内二峠六宿への誘客を目指すとともに、東海道ブランドを確立し「街道観光」を推進する。	2	1	19,893	0	18,794	2.0	0.2	0.0	○
			2	39,609	0	14,573	2.0	0.0	0.0	
			3	24,297	0	23,774	2.0	0.0	0.0	
			4	—	—	—	—	—	—	
②朝鮮通信使発信・交流事業	①釜山市開催フェスティバルとの交流 ②釜山市でのプロモーション活動	2	1	9,074	0	7,824	0.5	0.5	0.0	—
			2	4,450	0	0	0.5	0.5	0.0	
			3	3,508	0	0	0.5	0.0	0.0	
			4	—	—	—	—	—	—	
③駿府城跡天守台発掘調査見える化事業	①常設見学ゾーン・発掘情報館「きゃっしる」での速報展示 ②現場見学会、講演会実施	1	1	19,384	0	15,256	3.0	2.0	0.0	○
			2	11,244	—	8,449	3.0	2.0	—	
			3	11,061	—	8,891	1.5	2.0	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
④歴史文化推進事業	①徳川みらい学会と連携した講演会等の実施 ②民間団体や関連自治体と連携した情報発信	2	1	2,768	0	2,479	1.0	0.5	0.0	○
			2	2,428	—	2,120	1.5	1.0	—	
			3	2,428	—	2,385	1.0	0.0	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
⑤歴史文化施設建設事業	①歴史文化施設の建設・展示設計及び工事 ②歴史文化施設の展示資料収集・調査 ③建設予定地の発掘調査・資料整理（～R2年度）	1	1	483,700	148,660	325,582	7.5	1.5	0.0	○
			2	574,483	279,900	363,623	7.5	1.5	—	
			3	1,390,306	446,200	1,799,104	8.3	1.2	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
⑥今川義元公生誕五百年祭推進事業	①今川義元公生誕五百年祭推進事業実施（～R2年度）	1	1	66,000	0	66,000	0.5	0.0	0.0	○
			2	8,545	—	7,535	0.5	0.0	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
⑦駿府城公園再整備事業	①市民の憩いの場となる駿府城公園再整備の実施（H27～ ） ②発掘調査に支障となる公園施設の撤去及び移設（H27～29年度） ③天守台跡地の発掘調査（H28～R3年度） ④天守台跡地発掘調査の寄附金募集（H27～R3年度）	3	1	100,000	0	82,453	3.0	0.0	0.0	○
			2	4,959	0	4,728	3.0	0.0	0.0	
			3	12,744	—	10,963	3.0	0.0	0.0	
			4	—	—	—	—	—	—	
⑧お堀の水辺（葵舟）活用事業	①船舶2艘取得（H31年度） ②民間による本格運航開始（R2年度末～） ③集客につなげる周知啓発（R3年度～）	3	1	37,700	11,880	34,710	2.7	0.0	0.0	○
			2	8,494	0	6,599	1.0	0.0	0.0	
			3	10,173	0	10,102	1.0	0.0	0.0	
			4	—	—	—	—	—	—	
⑨駿府城公園「桜の名所」づくり事業	①駿府城公園及び三の丸区域へ桜の植樹 ②駿府城公園内の桜活用盛土整備	3	1	566	0	566	0.5	0.0	0.0	○
			2	0	0	0	0.5	0.0	1.0	
			3	0	0	0	0.5	0.0	1.0	
			4	—	—	—	—	—	—	

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例（◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画上実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった）



(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	<p>全体) 新型コロナウイルスの影響により、観光のあり方が大きく変わることが予想される</p> <p>①街道観光は、単独市域では完結しないため、東海道の各宿場と連携した広域化が必要</p> <p>⑦今後に検討・決定される駿府城天守台跡地の整備方針と整合を図り、「駿府城公園再整備計画」を見直す。</p> <p>⑧本格運行後における事業主体者の安定した経営環境を整える必要</p> <p>⑨駿府城公園「桜の名所」づくり事業の成果指標(目標値)である「桜の植樹本数」は、天守台発掘調査や歴史文化施設、市民文化会館の建替え等、区域が重複する関連事業の進捗による影響が生じている。</p>	<p>全体) 関係主体と連携のもと情報収集に努め、時勢に応じて、事業の内容や実施方法等について見直しを検討する。</p> <p>①全国街道交流会議の成果及び日本遺産制度を活用し広域化を目指す。</p> <p>⑦関係課等との連携による発掘調査の継続。</p> <p>⑧観光客等へのプロモーション強化及び、市民に舟を身近に感じてもらう機運醸成に努め、乗船率を向上させ、収入増を図る。</p> <p>⑨関連部局と連携しながら引き続き、植樹を進めていく。</p>
令和2年度	<p>全体) 歴史的資産を活かし、回遊性の向上につなげるため、プロモーションや相互送客などの面で、関連部局や関連事業者との連携が必要となる。</p> <p>①街道観光は、単独市域では完結しないため、東海道の各宿場と連携した広域化が必要</p> <p>⑦「駿府城跡天守台野外展示計画」と整合を図る。</p> <p>⑧民間主体による運航を3月から開始し、旅行商品造成支援や情報発信等、乗船率向上のための、補助的な役割を担う必要がある。</p> <p>⑨駿府城公園「桜の名所」づくり事業の成果指標(目標値)である「桜の植樹本数」は、フィールドミュージアムや歴史文化施設、市民文化会館の建替え等、区域が重複する関連事業の進捗による影響。</p>	<p>全体) 歴史文化施設の開館を契機に、各事業を駿府城公園エリアの賑わいや活性化につなげるとともに、観光客の滞在時間拡大・周遊促進に資するような実施方法について見直しを検討する。</p> <p>①令和2年度藤枝市と共同申請した駿州の旅が日本遺産に認定されたため、同制度を活用し広域化を目指す。</p> <p>⑦関係課との連携による発掘調査の継続。</p> <p>⑧葵舟を活用した観光誘客の促進を図る。</p> <p>⑨関連部局と連携しながら引き続き、植樹を進めていく。</p>
令和3年度	<p>①街道に關係する関連団体との連携</p> <p>⑧事業主体者の安定した経営環境の確保</p> <p>⑨既存の桜の生育状況を踏まえた適正な管理と桜の植栽の推進。</p>	<p>①関連団体と意見交換の場の設置及び連携事業の実施。</p> <p>⑧集客増に向けた広報支援及び歴史博物館や大河ドラマ館の開館に合わせた集客支援。</p> <p>⑨桜等の植栽に関する修景計画を作成し、管理の適正化や関連部局と連携を図りながら修景整備を進めていく。</p>
令和4年度	—	—

# 施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	1 観光・交流
----	---------

評価責任者	所属	経済局 海洋文化都市推進部 海洋文化都市政策課
	氏名	課長 谷川原 賢一

政策	1 静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します
----	-------------------------------

施策	4 お茶、しずまえブランドなど食の魅力のみがきあげ
----	---------------------------

施策の目的	静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進するためには、恵まれた自然環境や伝統に育まれた食の魅力を広く活用し、国内外から人を呼び込む観光事業に結び付けていく必要があります。特に観光は関連する産業のすそ野が広く、地域経済の活性化に大きな役割を果たすことから、まぐろ・お茶、しずまえなどの食の魅力を活用した地域資源としてみがきあげ、広く情報発信していくことにより、国内外から多くの人々が訪れ、活発な交流が行われるまちの実現を目指していきます。
-------	--

## （1）総合評価

総合評価	年度	評価	理由
総合評価	令和元年度	A：施策の目的が達成されている。	理由 ・イベントは開催できなかったが「まぐろのまち静岡」の市内外へのPRとしては、ポスターの掲出やチラシの配布を行うなど、予定どおり実施した。 また、新規企画のプランを検討する中で関係者との連携の強化を図るなど、一定の成果を得られた。 ・成果指標の実績が目標を大きく上回るとともに昨年も成果指標に掲げた本市における一世帯当たりの緑茶（リーフ）の「年間購入数量」及び「年間支出金額」が、ともに日本一であったことから、施策の目的が十分に達成されていると評価することができる。
	令和2年度	S：施策の目的が十分に達成されている。	理由 ・「まぐろのまち静岡」の推進については、webを活用する等、「清水港マグロまつり」の開催内容を変更することで、目標を大きく上回ることができた。 ・新型コロナウイルス感染症の影響から、首都圏や海外などへのプロモーション事業は実施できなかったものの、関係団体や他業種との連携により「静岡市のお茶」の普及・消費を促したことで、本市における一世帯当たりの緑茶の「年間購入数量」及び「年間支出金額」が日本一となり、成果指標の実績も目標を大きく上回ったことから、施策の目的が十分に達成されていると評価することができる。
	令和3年度	S：施策の目的が十分に達成されている。	理由 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、イベント（しずまえ・オクシズまつり）等のプロモーション事業は実施できなかったが、広報誌の発行やSNSを活用した事業をメインに実施した。 ・新型コロナウイルス感染症の影響から、首都圏や海外などへのプロモーション事業が一部実施できなかったものの、関係団体や他業種と連携し、新茶シーズンでのイベント開催や宿泊施設におけるお茶の配布など、「静岡市のお茶」や「お茶のまち静岡市」のPR事業を実施することにより、本市における一世帯当たりの緑茶の「年間購入数量」及び「年間支出金額」は日本一を維持し、成果指標の実績も目標を上回ったことから、施策の目的が十分に達成されていると評価することができる。
	令和4年度	—	理由 —

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。—：評価できない。  
※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

## （2）成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠			
			1	2	3	4					
成果指標	関連施設・イベント入込客数 （「静岡おでんフェア、清水港マグロまつり等」）	613千人 (H27～29年度平均)	1	617,250	191,956	31.1%	—	現状値（H27～H29の平均）613千人から+2.8%増の630千人を計画最終年度（R4）の目標値として設定した。			
			2	621,500	64,142	10.3%	—				
			3	625,750	304,826	48.7%	—				
			4	630,000	—	—	—				
	清水港マグロまつりの来場者数 （「まぐろのまち静岡」の推進）	61千人 (H22～25年度平均)	1	65,000	—	—	a		平成30年度実績（65,000人）の維持・拡大を目標に設定している。 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した開催の為、1,500人とした。 令和3年度以降の目標値については、今後の状況に合わせた数値を設定していく。		
			2	1,500	40,084	374.2%	s				
			3	65,000	66,465	—	a				
			4	65,000	—	—	—				
	一世帯当たりの年間緑茶購入数量における静岡市と全国との比較	173% (H27～29平均値)	1	200%	245%	122.5%	s			「茶どころ日本一計画」がスタートしたH22から直近H29までの平均値（197%）を維持することを目標とし、設定した。	
			2	200%	280%	140.0%	s				
			3	200%	231%	115.5%	s				
			4	200%	—	—	—				
	しずまえ・オクシズまつり来場者数	18千人 (R1)	1	18,540	18,000	97.0%	a				前年実績の3%増とする。 【外的要因】屋外で実施するイベントのため、天候に左右される。 ※R2は中止、R3の目標値はR1の実績値を基に算出した。 R4の目標値はR3の実績値で決定する。
			2	—	—	—	—				
			3	18,540	—	—	—				
			4	10,000	—	—	—				

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
「まぐろのまち静岡」の推進	①清水港マグロまつり実行委員会への補助金の交付 ②清水港マグロまつり実行委員会への支援 ③清水港マグロPRの実施 ※R1の台風による中止を受け、R2ではwebを活用したのも同時に開催。リアルイベントは台風により規模縮小したが、リアルでの来場者3,515人、web閲覧者36,569人により有効なイベント開催となった。	1	1	6,500	0	4,455	0.8	0.0	0.0	○
			2	6,500	0	6,500	0.8		0.0	
			3	6,500	—	6,500	0.8		0.0	
			4	—	—	—	—	—	—	
★「お茶のまち静岡市」推進事業	「静岡市茶どころ日本一計画」に基づく情報発信やプロモーション ①JR静岡駅情報発信事業 ②「お茶のまち静岡市」ホームページ情報発信事業 ③「お茶のまち静岡市」ラッピングタクシー導入事業 ④「お茶のまち静岡市」首都圏等プロモーション事業 ⑤山のお茶プロモーションイベント「茶縁」の開催 ⑥まちお茶おもてなし推進事業	1	1	20,536	0	12,277	2.0	0.0	0.0	○
			2	15,126	0	6,030	2.0	0.0	0.0	
			3	15,011	0	9,736	2.3	0.2	0.0	
			4	—	—	—	—	—	—	
★しずまえ鮮魚の普及推進	①「しずまえ新聞」の市内小中学生への配布（6月及び11月） ②「しずまえ漁業見学ツアー」の開催（10月） ③「しずまえ・オクシズまつり」の開催（10月） ④しずまえPR事業（通年）	1	1	7,330	0	7,025	1.5	0.0	0.0	○
			2	5,186	0	2,783	1.5		0.0	
			3	5,131	0	4,242	1.5	0.0		
			4	5,131	—	—	—	—	—	

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例（◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画上実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった）

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	昨今の茶業を巡る厳しい状況の中で、本市が活力ある日本一の茶どころとして持続的に維持・発展し、茶生産農家はもとより茶業関係者が将来に希望をもって持続可能な安定した経営を可能とするためには、収益力が高く、もうかる茶業の実現が欠かせない。	各茶業関係者の大同団結のもと、新たに令和2年度からスタートする「第2次静岡市茶どころ日本一計画」を着実かつ確実に実行していくことで、第2次計画に掲げた目標指標の達成を図る。
令和2年度	・清水港マグロまつりが気象や災害の影響を受けて中止になった場合、「まぐろのまち静岡」の推進が満足に行えなくなる。 ・昨今の茶業を巡る厳しい状況の中で、本市が活力ある日本一の茶どころとして持続的に維持・発展し、茶生産農家はもとより茶業関係者が将来に希望をもって持続可能な安定した経営を可能とするためには、収益力が高く、もうかる茶業の実現が欠かせない。	・「まぐろのまち静岡」を安定して推進するため、イベントの手法について、webと並行し、周年を通じた開催にするなど提案していく。 ・「第2次静岡市茶どころ日本一計画」に掲げた目標を達成するため、各取組を着実かつ確実に実行するとともに、令和4年度策定の第4次総合計画（前期計画）を見据えた進行管理を行っていく。
令和3年度	・令和3年度からマグロまつりと連携し、「まぐろのまち静岡」を安定して推進するために、周年事業として業種や市内外に限らず多くのイベントを行った。今後も周年イベントを行うためには、他組織との連携強化が必要となる。 ・「お茶のまち静岡市」に認知度を向上させ、「静岡市のお茶」の価値を高めていくため、積極的に情報発信するとともに、社会環境の変化に対応した事業の実施方法や内容について検討していく必要がある。	・「まぐろのまち静岡」を安定して推進するため、多くの団体や組織と連携強化を図り、まぐろのPRを行っていく。 ・「お茶のまち静岡市」の認知度向上を図り、「静岡市のお茶」のブランディング、国内外での消費拡大・販路拡大に向け、関係機関や関係団体と連携し、積極的に事業を実施していくとともに、令和4年度に「第2次静岡市茶どころ日本一計画」の中間見直しを行っていく。
令和4年度		—

# 施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	1 観光・交流
----	---------

評価責任者	所属	経済局 農林水産部 中山間地振興課
	氏名	課長 太田 伸二

政策	1 静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します
----	-------------------------------

施策	5 オクシズの魅力を活かす交流促進
----	-------------------

施策の目的	静岡市の中山間地オクシズにおける固有の魅力を地域資源として活用し、オクシズ地域の維持と振興を図ります。また、あわせてオクシズに生きる人たちと市街地をはじめとする都市住民との交流を促進し、静岡市全体の活性化を図ります。
-------	--

## （1）総合評価

総合評価	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	理由
	B：施策の目的があまり達成されていない。	—	—	—	夏の猛暑や週末の天候不順、新型コロナウイルスの影響など外的要因の影響が大きく、入込客数は目標値を下回ったが、各施設の積極的な取組により、目標に対して90%近い入込客数を確保することができた。
		—	—	—	設定している指標「関連施設入込客数」について、新型コロナウイルス感染症の影響により、施設の休館等が行われるなどし、入込客数が減少したため適正な実績値を測定することができなかったため、評価することができない。
		—	—	—	設定している指標「関連施設入込客数」について、新型コロナウイルス感染症の影響により、施設の休館等が行われるなどし、入込客数が減少したため適正な実績値を測定することができなかったため、評価することができない。
		—	—	—	—

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。—：評価できない。  
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

## （2）成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠
			1	650,200	571,034	87.8%	b	
関連施設入込客数 （黄金の湯、安倍ごころ等）	649,000 （H27～H29の平均）	2	650,800	436,242	67.0%	d		
		3	651,400	436,682	67.0%	d		
		4	652,000	—	—	—		
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
オクシズプロモーション事業	総合情報サイト「オクシズ」の運用及び、中山間地域の魅力情報紹介ツールの作成、広告・イベント出展等による地域情報の発信により、交流人口及び定住人口の増加を図る。	1	1	8,276	0	7,785	1.0	0.0	0.0	○
			2	8,522	0	4,085	1.0		0.0	
			3	9,316	0	6,078	1.0		0.0	
			4	—	—	—	—	—		
市営温泉浴場保全整備計画	経年劣化の進行による損壊や機能低下が発生している各温泉施設の改修を行い、利用者の安全性確保と利便性、快適性の向上を図る。 ・梅ヶ島新田温泉浴場改修	2	1	0	0	0	—	—	—	○
			2	4,400	0	4,400	3.0		0.0	
			3	17,700	0	3,010	3.0		0.0	
			4	—	—	—	—	—		
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例 (◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画上実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった)

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	新型コロナウイルスの影響により、3月は、ほとんどの施設が臨時休業となってしまった。今後の各施設の来館者の受入れと新型コロナウイルス対策の両立が課題である。	今後の新型コロナウイルスの動向に注視し、来館者が安心して訪れることができるよう、必要な措置を講じていく。
令和2年度	新型コロナウイルスの影響により、4月5月は、ほとんどの施設が臨時休業となってしまった。今後の各施設の来館者の受入れと新型コロナウイルス対策の両立が課題である。	今後の新型コロナウイルスの動向に注視し、来館者が安心して訪れることができるよう、必要な措置を講じていく。
令和3年度	新型コロナウイルスの影響により、8月中旬から9月は、ほとんどの施設が臨時休業となってしまった。今後の各施設の来館者の受入れと新型コロナウイルス対策の両立が課題である。	今後の新型コロナウイルスの動向に注視し、来館者が安心して訪れることができるよう、必要な措置を講じていく。
令和4年度	—	—

# 施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	1 観光・交流
----	---------

評価責任者	所属	観光交流文化局 スポーツ交流課
	氏名	課長 長澤 秀紀

政策	1 静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します
----	-------------------------------

施策	6 スポーツを通じた魅力づくりの推進
----	--------------------

**施策の目的**  
本市スポーツ推進計画では、スポーツを「観る」、「する」、「支える」と大きく3つの視点で推進しています。そこで、市外や県外から静岡市にスポーツを「観る」、「する」ことを目的に本市を訪れたいと思う人を増やし、「支える」ことを目的にスポーツに参加する本市市民を増やすために、3つの視点に関連する全国規模の大会の開催や、静岡に根付くサッカー・野球の魅力の磨き上げを行い、本市のスポーツの魅力を日本全国・世界に向けて発信します。

## （1）総合評価

総合評価	令和元年度	理由
	<b>A：施策の目的が達成されている。</b>	理由 新型コロナウイルス感染症の影響により、プロサッカー、プロ野球などの試合が中止や無観客となるほか、静岡マラソンも中止となった。しかし、東静岡アート&スポーツ/ヒロバでは前年を大きく上回る入込客数となるなど、成果指標である「関連施設・イベント入込客数」は概ね達成することができたため、総合評価は「A」とした。
	—	理由 新型コロナウイルス感染症の影響により、プロサッカー、プロ野球などの試合の中止や入場者数の制限のほか、静岡マラソンや全国少年少女草サッカー大会の中止や、関連施設の休館等により、成果指標である「関連施設・イベント入込客数」の実績値を測定することができなかったため、評価することができない。
	<b>B：施策の目的があまり達成されていない。</b>	理由 新型コロナウイルス感染症対策による入場者数の制限が緩和され、プロサッカー、プロ野球などの試合の観戦者数は、昨年と比べ増加した。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、静岡マラソンや全国少年少女草サッカー大会が中止となり、成果指標である「関連施設、イベント入込客数」の実績値が目標値を下回ったため、総合評価は「B」とした。
	—	理由 —

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。—：評価できない。  
※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

## （2）成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠
			1	1,411千人	1,346千人	95.4%	a	
成果指標	関連施設・イベント入込客数 （日本平運動公園球技場、草薙総合運動場等）	1,394千人 （H27～29平均）	2	1,429千人	756千人	52.9%	d	第3次総合計画後期実施計画最終年度である令和4年度に現状値から5%増加することを目標に、各年度1%強の増加を目標値とした。
			3	1,446千人	1,085千人	75.0%	c	
			4	1,463千人	—	—	—	
			1					
成果指標			2					
			3					
			4					
			1					
指標 成果 以外の			2					大学野球オータムフレッシュリーグについて、新型コロナウイルス感染症の影響で球場に来場できない市民や野球ファン等に対し、YouTubeでの試合のライブ配信を実施し、スポーツを観る機会を提供することができた。
			3					
			4					
			1					

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
静岡マラソンの開催	①静岡マラソン開催に係る静岡マラソン実行委員会への補助金交付。 ②開催に伴う市関係機関との調整及び広報。	2	1	45,000	0	37,736	0.6	0.0	0.0	—
			2	45,000	0	436	0.6		0.0	
			3	500	10,000	240	0.6		0.0	
			4	—	—	—	—	—	—	
サッカー、野球によるまちづくり	①サッカーによるまちづくりとして、全国規模のサッカー大会の開催のほか、地域の賑わい創出やコミュニティ機能向上、青少年育成に関する事業などを推進。 ②野球によるまちづくりとして、市民野球熱の醸成を推進するイベント・大会の開催や情報発信等を実施。	1	1	42,732	0	34,033	3.0	1.0	0.0	○
			2	27,198	0	16,186	3.0		1.0	
			3	44,133	5,000	31,176	3.0		1.0	
			4	—	—	—	—	—	—	
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例 (◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった)

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、関連施設・イベントの入込客数が大幅に減少することが想定される。感染症対策を実施した安心安全な大会運営や県外参加者の受け入れなどが課題となる。	今後の新型コロナウイルス感染症の影響を注視しながら、安心安全な大会運営、県外からの参加者の受け入れ方法などについて、各種団体とともに協議を行っていく。
令和2年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、関連施設・イベントの入込客数が大幅に減少することが想定される。感染症対策を実施した安心安全な大会運営や県外参加者の受け入れなどが課題となる。	今後の新型コロナウイルス感染症の影響を注視しながら、安心安全な大会運営、県外からの参加者の受け入れ方法などについて、各種団体とともに協議を行っていく。
令和3年度	イベントの入場者数の制限が緩和され、入込客数の増加が見込める。そのため、より一層感染症対策を実施した安心安全な大会運営や県外参加者の受け入れなどが課題となる。	今後の新型コロナウイルス感染症の影響を注視しながら、安心安全な大会運営、県外からの参加者の受け入れ方法などについて、各種団体とともに協議を行っていく。
令和4年度	—	—